

【広島市消費者物価指数】

1 平成24年1月の動向

- 広島市総合指数（100.0）は前月比で3か月ぶりの上昇。前年同月比は同水準。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.6）は前月比で下落。前年同月比は3か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.8）は前月比で同水準。前年同月比は5か月連続の下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.0	0.4	0.0
生鮮食品を除く総合指数	99.6	▲0.2	▲0.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.8	0.0	▲0.8

3 前月からの動き

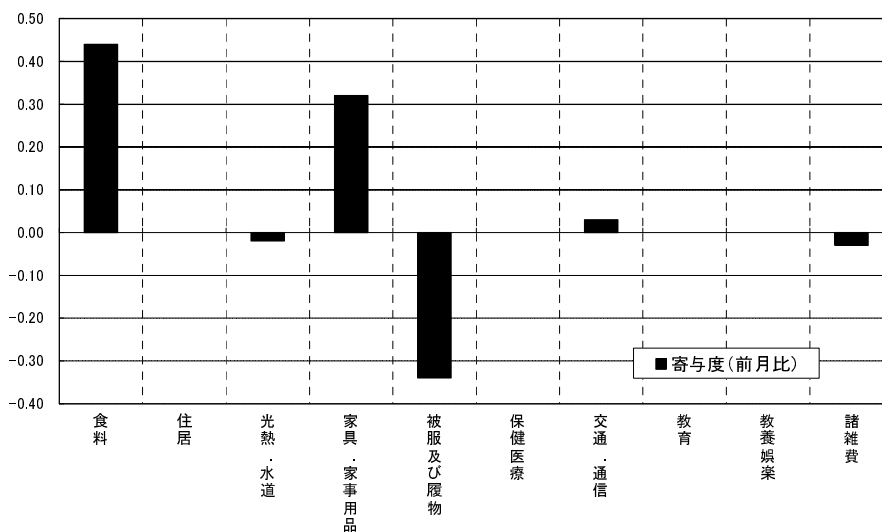
～食料，家具・家事用品は上昇，被服及び履物は下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.0	101.2	99.5	104.6	101.6	96.1	99.0	101.0	98.2	94.0	103.4
前月比 (%)	0.4	1.7	0.0	▲ 0.2	8.4	▲ 7.4	0.0	0.2	0.0	0.0	▲ 0.5
寄与度	0.4	0.44	0.00	▲ 0.02	0.32	▲ 0.34	0.00	0.03	0.00	0.00	▲ 0.03

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目
 食 料：野菜・海藻（前月比 12.3%，寄与度 0.32）等
 家具・家事用品：家庭用耐久財（前月比 22.3%，寄与度 0.30）等
 被服及び履物：洋 服（前月比▲10.4%，寄与度▲0.20）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
野菜・海藻（ねぎ 等）	12.3%	洋服（婦人コート 等）	▲10.4%
家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	22.3%	シャツ・セーター類（婦人セーター[長袖] 等）	▲11.0%
果物（いちご 等）	24.0%	調理食品（すし[弁当] 等）	▲2.4%
教養娯楽用品（トレーニングパンツ 等）	4.6%	教養娯楽サービス（外国パック旅行 等）	▲1.1%
自動車等関係費（自動車保険料[任意] 等）	0.5%	教養娯楽用耐久財（カメラ 等）	▲1.6%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道が上昇し、教養娯楽が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.0	0.6	▲0.2	4.4	2.4	▲1.6	▲0.7	0.9	▲0.2	▲4.2	▲0.4
寄与度	0.0	0.16	▲0.04	0.33	0.10	▲0.07	▲0.03	0.13	▲0.01	▲0.48	▲0.03

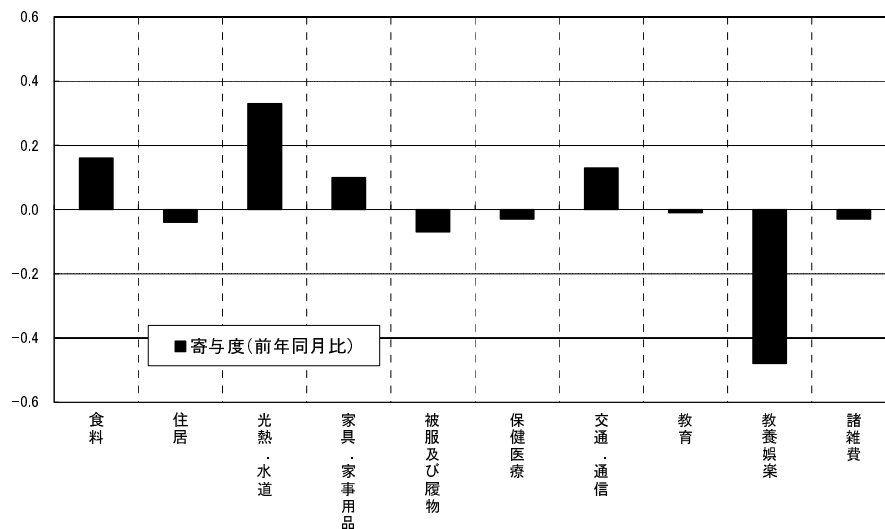
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教 養 娯 楽：教養娯楽用耐久財（前年同月比 ▲24.0%，寄与度 ▲0.48）等

光 熱 ・ 水 道：電 気 代（前年同月比 6.0%，寄与度 0.21）等

食 料：野 菜 ・ 海 藻（前年同月比 6.0%，寄与度 0.17）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
電気代（電気代 等）	6.0%	教養娯楽用耐久財（テレビ 等）	▲24.0%
野菜・海藻（ねぎ 等）	6.0%	菓子類（ポテトチップス 等）	▲2.9%
自動車等関係費（ガソリン 等）	2.1%	家賃（持家の公営家賃 等）	▲0.4%
ガス代（都市ガス代 等）	4.7%	シャツ・セーター類（婦人Tシャツ[長袖] 等）	▲6.1%
魚介類（かき[貝] 等）	4.1%	油脂・調味料（ドレッシング 等）	▲3.0%